

令和2年度教員免許状更新講習シラバス

講習の区分	【必修領域】全ての受講者が受講する領域		
講習の名称	【必修】教育の最新事情C(中・高・特支教諭向け)		
開設日	令和2年7月12日(日)	講習時間	6時間
主な受講対象者	全教員	受講人数	130人
講習の形態	インターネット講習		
担当講師	石井 宏祐、岡 陽子		
講習のねらい・到達目標	講習全体を通して、国の教育政策、世界の教育動向、教員としての子ども観、教育観や子どもの発達について理解する。		
講習内容	わが国の教育政策や世界の教育の動向を踏まえ、教員としての子ども観、教育観等について再考する。 また、子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。)を紹介し、子どもの生活の変化を踏まえた課題を検討しながら、教育にどう活かすかを考える。カウンセリングマインドの必要性を考える。		
評価方法・基準	成績評価は、各講習の担当者が行う試験の成績や、講習への出席状況から総合的に判断します。評価基準は、総合点で60点以上を合格とします。		
	認定試験に関して	試験問題は講習日当日にメールにて送付します。解答は受験者本人が自署にて行い、提出は郵送にて行う。	
講習計画/講習内容			
開始時刻等	担当講師	内容	補足
I 9:00~10:30 (90分)	石井 宏祐	デジタルメディア乱用の発達への影響や、愛着の発達と養育との関連について、心理学の観点から解説する。また発達障害に関する最新トピックについても紹介する。	
II 10:45~12:15 (90分)	石井 宏祐	カウンセリングマインドと教育相談技法をめぐる最新の知見をふまえ、心のケアに関して解説する。	
12:15~13:15	昼休み		
III 13:15~14:45 (90分)	岡 陽子	学校教育をめぐる近年の状況の変化を理解するとともに、児童生徒に求められる資質・能力を基軸とした授業づくりの視点について考察する。その上で、これからの学校に求められることやそれを支える教師の資質・役割について議論と省察を行う。	
IV 15:00~16:30 (90分)	岡 陽子	筆記試験 【資料の持ち込み (不可) ※客観(選択)テストを中心とする】	
受講(視聴)に当たって準備しておくもの			
予習について			
受講上の注意			